

会議結果のお知らせ

令和6年度第2回新里地域づくり協議会を、次のとおり開催しました。

令和6年9月3日

新里地域づくり協議会

1 開催日時

令和6年8月1日（木） 午後6時30分から午後8時00分まで

2 開催場所

新里福祉センター 1階 研修室

3 議題

- (1) 会長、副会長及び広報編集委員の選任について
- (2) 地域づくり協議会に替わる新たな組織について
- (3) 新たな補助制度について
- (4) 令和6年度実施予定の主要事業（新里地域）について
- (5) その他

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

新里地域づくり協議会事務局 新里総合事務所地域振興係
電話 0193-72-2111

令和6年度 第2回新里地域づくり協議会 議事録

1 出席者

12名

2 欠席者

なし

3 事務局出席者

3名

4 傍聴者 なし

5 議事等

- (1) 会長、副会長及び広報編集委員の選任について
事務局案により、全員が留任となった。
- (2) 地域づくり協議会に替わる新たな組織について
市の方針案が承認された。
- (3) 新たな補助制度について
市の方針案が承認された。
- (4) 令和6年度実施予定の主要事業（新里地域）について
新里地域の主要事業の進捗状況を説明した。
- (5) その他

質疑応答内容

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【議題(2) 地域づくり協議会に替わる新たな組織について】</p> <p>(委員) 各地域で出た意見に宮古が記載されていないが、宮古地域は意見が出なかったのか。</p> <p>(委員) 宮古地域は地域のことを話し合う場はないということか。</p> <p>(委員) 検討する、配慮するという表現だが、3月までに決めるという理解でいいか。そうであれば、また会議を開いて検討することとなるのか。</p> <p>(委員) 宮古地域は新たな組織を作らないようだが、合同会議はどうするのか。新組織を作る3地区のみで開催することも考えられるのでは。</p> <p>(委員) 4地区合同会議は市の施策を説明されるだけで地域の話が出る場ではないため、形がい化を感じる。</p> <p>(委員) 宮古地域は新たな組織は作らないのか。</p>	<p>(事務局) 宮古地域では、市が示した案に特に意見がなかった。 各地域では前回集約した意見を取り入れた方針案を示すため2回目の会議を開催したが、宮古地域は委員の意向により書面開催で報告に代えている。</p> <p>(事務局) 宮古地域づくり協議会を構成する委員は市全体を包括するような団体から選出されているため、旧宮古市地域の課題等を議論することがなく、地域創造基金の審査のみを行う状態となっていることから、意見は出なかったものと思われる。</p> <p>(事務局) 今年の12月議会に予算を含めた詳細を提示する必要があるため、10月頃までには決めたいと考えている。</p> <p>(事務局) この件に関しては今回お示しした案をもって今後市で詳細を検討していくこととなるが、要望等があれば本日承りたい。</p> <p>(事務局) 新たな組織を作らない宮古地域を合同会議にどう絡ませるかは今後の検討となる。</p> <p>(事務局) 宮古地域は、既存の組織（自治会連合会、学校運営協議会等）や個別案件ごとの地区説明会等から意見を聞くこととしているため、現段階で新たな組織作りはしない予定だ。</p>

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>【議題(3) 新たな補助制度について】</p> <p>(委員) 宮古地域からの意見に対して出された「自主財源がなくても申請できる」という方針案はかなり前向きな回答だと思う。</p> <p>(委員) 示されたスケジュールは来年度のものだが、今年度に何かやりたいという団体に補助は出ないのか。</p> <p>(委員) 来年度のスケジュールは理解したが、その後のスケジュールはどうなるか。</p> <p>(委員) 3年という期限を明記しないのであれば取り組みやすいと思う。</p> <p>(委員) 郷土芸能の保存・伝承は市が取り組むべきである。</p> <p>(委員) マンネリ化が生じるとの指摘があるが、小さな団体は活動することで精いっぱい。あまり厳しく審査されると活動自体を取りやめるのではないか。</p> <p>(委員) 補助事業を行っている団体による意見交換の場があってもいいのではないか。 各団体の現状を出し合えば課題等を解決でき、マンネリ化の解消につながると思われる。</p> <p>(委員) 活動団体同士の横のつながりが必要だと感じる。団体の代表者等が集まる会議等を開催してほしい。</p> <p>(委員) 新たな組織、補助制度について、具体案ができれば地域づくり協議会に示してほしい。</p>	<p>(事務局) 少額枠として20万円を上限とする補助金を予定している。自主財源を持たない新たな団体を掘り起こすための措置と思われる。</p> <p>(事務局) 今年度の地域創造基金は昨年度中に審査を終了しているため、新規受付はできない。</p> <p>(事務局) 現段階で、どのような補助制度になるか詳細が決まっていない。募集してから予算確保となるか、予算をある程度確保してから募集するのか、いずれも今後の協議となる。</p> <p>(事務局) 毎年同じ内容で申請するのではなく、創意工夫により少しでも改善を図りながら活動してほしい。それがマンネリ化の解消にもつながっていく。</p> <p>(事務局) 新里地区からの要望として承る。</p>